

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	公益社団法人セントラル愛知交響楽団
公演団体名	公益社団法人セントラル愛知交響楽団

内容
<p>「弦楽器、管楽器、打楽器によるミニオーケストラ！」という設定で実施。</p> <ul style="list-style-type: none">●楽器紹介●ミニコンサート●オーケストラのお話●質問コーナー <p>上記内容(1時限)の後、校種別に展開(1時限)...全体で2時限を予定。</p> <p>【小学校】</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書教材曲等を使用して、音楽の三要素(リズム、メロディー、ハーモニー)について説明。特にリズムの役割について理解を深める。・教材曲「ボレロ」(本公演共演曲)をミニオーケストラで演奏し、刻まれているリズムを聴き取る。2小節がパックになっていることも説明し、児童の興味・関心を引き出す。・「ボレロ」に表れる12のうち選択したリズムパターンを示し、学校備品打楽器、創作楽器(ペットボトルなど)や手拍子などでチャレンジする。・楽器や創作楽器などで、単純なリズムパターンから順次重ね(輪奏)、併せて音色の工夫や重なりも感じながらリズムあそびをする。・ミニオーケストラと一緒に、上記要領で合奏体験(共演)をする。 <p>※本公演ではワークショップ参加児童が模範演奏をしてから全校児童もチャレンジし、オーケストラとの共演に展開させる。</p> <p>【中学校】</p> <ul style="list-style-type: none">・本公演における共演に向け、吹奏楽等のセクション指導、合奏指導を行う。・選曲については学校の希望曲を優先する。 <p>※本公演では、オーケストラ(管打セクション)との共演を全校生徒に披露する。</p> <p>《吹奏楽部等が無い学校》</p> <p>上記小学校の「ボレロ」のリズムパターンの難易度を多少高め、楽器や創作楽器の音色の工夫、強弱や曲の盛り上げの工夫に加え、2つの旋律の対比や楽曲構造等にも触れた創作活動としたい。</p> <p>※本公演では、参加生徒と実演して本公演に繋げる。</p>

タイムスケジュール（標準）

※14:00 開始とする場合※

10:00～ 会場入り、セッティング

11:00～ ワークショップ打ち合わせ、本公演打ち合わせ、体育館下見(約1時間～1時間半)

13:00～ リハーサル

14:00～ ワークショップ開始

16:00 頃 終了

17:00 頃 撤収

ワークショップは授業時間割の5、6時限目に実施します。

学校毎に希望を伺い、日程及び時間を調整します。

派遣者数

【小学校・吹奏楽部が無い中学校】

弦楽器 2名 / 木管楽器 1名 / 金管楽器 1名 / 打楽器 1名

事務局 1～2名

合計 6～7名

【吹奏楽部がある中学校】

管楽器 3名 / 打楽器 1名 / コントラバス 1名

事務局 1～2名

合計 6～7名

学校における事前指導

【小学校】

特になし

【中学校】

共演曲(任意曲と校歌)の事前練習をお願いします。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	公益社団法人セントラル愛知交響楽団
公演団体名	公益社団法人セントラル愛知交響楽団

演目
<p>小学校</p> <p>♪ドボルザーク:スラブ舞曲 Op.72-1 《弦楽器紹介》 ♪吉松隆:アトム・ハーツ・クラブ第1組曲第1曲 《管・打楽器紹介》 《指揮者体験コーナー》ハンガリー舞曲第5番より ※児童3名が挑戦 ♪チャイコフスキー:花のワルツ 休憩10分 《共演コーナー》ラベル:ボレロ ♪ドビュッシー:「小組曲」より‘バレエ’ ♪ドボルザーク:交響曲第8番より第4楽章 ♪校歌 《アンコール》シュトラウス:ラデツキー行進曲</p> <p style="text-align: right;">90分構成</p>
<p>中学校</p> <p>♪ドボルザーク:スラブ舞曲 Op.72-1 《弦楽器紹介》 ♪ピアノラ:ブエノスアイレスの夏 《管・打楽器紹介》 《指揮者体験コーナー》ハンガリー舞曲第5番より ※生徒3名が挑戦 ♪チャイコフスキー:花のワルツ 休憩10分 《共演コーナー》吹奏楽部等と課題曲を共演 ※当該部が無い場合は[ラベル:ボレロ]を選抜生徒と共演し全校生徒に披露 ♪モシュコフスキー:「世界中の国々から」より‘イタリア’ ♪スメタナ:「わが祖国」より‘モルダウ’ ♪校歌 ※吹奏楽部等との共演 《アンコール》シュトラウス:ラデツキー行進曲</p> <p style="text-align: right;">95分構成</p>

派遣者数

指揮者 1名 / 司会者 1名 / 演奏者 59名 / 事務局 4名 / スタッフ 5名

合計 70名

タイムスケジュール（標準）

※13:30 開演とする場合※

8:00～ 体育館へ搬入・設営開始(所要時間 2 時間)
10:00～ 会場リハーサル(所要時間 60～90 分)
12:00～ 進行打ち合わせ等
13:15～ 開場
13:30～ 開演(うち休憩 10 分)
15:00 頃 終演・片付け
17:00 頃 撤収

吹奏楽部等との共演がある場合は、生徒の皆さんにもリハーサルに参加して頂きたいです。
授業との兼ね合いもございますので、学校毎にご希望を伺って時間を調整します。

実施校への協力依頼人員

前日までに演奏者用の椅子、長机、ポートボール台/学習机(司会者用マイクのスピーカー置台として使用)、スリッパ、(冬季に実施する場合は)暖房器具のご準備をお願いします。
前日の用意が厳しい場合は、2～5名程お手伝いを当日お願いします。

リハーサル開始時に校歌の練習を行います。指揮者が速度等を確認しますので、お立合いのほどお願いします(1～2名、所要時間は約5～10分)。

演目解説

【小学校】

♪スラブ舞曲 Op.72-1

演奏会のオープニングにふさわしい。生き生きとした 2 拍子部分と、壮大で華やかなオーケストラの響きを持つ中間部の優雅さを比較させることで、曲の構成も理解しやすい。

♪アトム・ハーツ・クラブ第1組曲第1曲

2000 年に作曲された弦楽アンサンブル作品。現代的なロックのテイストが入ったリズムと分かりやすくポップな音使いで、初めて聴く児童もワクワクするであろう心踊る曲。

♪ハンガリー舞曲第 5 番…指揮者体験コーナー使用曲

音楽表現を導き出す指揮者の役割を理解するための教材曲として取り上げる。旋律・速度・強弱の変化に富んでいる。弦楽器の問いかけに管楽器が、低音域楽器に高音域楽器が応えるなど、楽器同士の応答が見え隠れる。音楽の構造にも興味・関心を引き付けたい。

♪花のワルツ

3 拍子のリズムを感じ取ることがポイントの一つ。ワルツは 1 拍目に重心を置くことでリズムを安定させているが、作曲者は途中であえて 1 拍目にリズムを入れない箇所をつくり不安定な踊りも表現している。旋律の美しさや、基本的な 3 拍子のリズムと変則的なワルツの拍子感も味わう。また、普段実際に見る機会が少ないハープやその音色にも注目させたい。

♪ボレロ…共演コーナー使用曲

3 拍子が 2 小節のパックとなり、2 つの旋律が様々な音色(楽器)で織りなし、壮大に展開する音楽の構造を体感する。

♪「小組曲」よりバレエ

ピアノ連弾のために作曲した 4 曲から成る組曲の第 4 曲目。冒頭の 2/4 拍子で弾む曲調と、中間部の 3/8 拍子の円舞的な雰囲気による対比がわかりやすく表現され、オーケストラの各楽器による色彩感溢れた華やかな曲。

♪交響曲第 8 番第 4 楽章(トボルザーク)

2 拍子の変奏曲形式で、トランペットが行進曲風に力強く奏でる。変奏ごとにオーケストラの様々な楽器が描き出され、終わりに向け速度を高め、オーケストラの響きをもって演奏会の印象を締めくくる。

※上記演目の他に実施校「校歌」と、アンコールとして全校児童・生徒の手拍子を加えた「ラデツキー行進曲」を予定。

【中学校】

♪スラブ舞曲 Op.72-1

小学校同様に演奏会のオープニングを飾り、鑑賞への期待感を醸成する。ドボルザークはチェコの作曲家で、ドイツの作曲家であるブラームスにより才能を見出された。アメリカでも作曲の他に音楽教育にも貢献し国際的な名声を得た人物として紹介。

♪ブエノスアイレスの夏

作曲家ピアソラはアルゼンチン出身だが、幼少期にアメリカ、その後フランスで過ごしたバンドネオン奏者でもある。この曲は様々な編成で編曲されているが、今回は弦楽器紹介ののち弦楽合奏版で鑑賞する。

♪ハンガリー舞曲第5番…指揮者体験コーナー使用曲

小学校と同様に指揮者コーナーの教材曲として取り上げた。ドイツ生まれのブラームスが20歳の頃、ハンガリーを旅した際に出会った民謡を帰国後まとめた舞曲集。ブラームスがジプシー音楽に新たな刺激を受けたことがよくわかり、速さの移り変わりなどハンガリーの曲想がよく表れている。

♪花のワルツ

17世紀にフランスで生まれたバレエが18世紀にロシアで大きく花開き、その先駆者であるチャイコフスキーの作品から取り上げた。ロシアの哀愁ある特徴的で親しみやすい旋律が色々な楽器で彩られ、表現の違いなどを鑑賞する。

♪吹奏楽部等との共演(演目は実施校と相談の上で決定)

※吹奏楽部等がない場合は、小学校同様に「ボレロ」を使用しワークショップの成果発表とする。

♪「世界中の国々から」よりイタリア

モシユコフスキーはポーランド生まれのドイツの作曲家で、200を超える多くの曲を作曲したことで知られている。この曲はもともと4手のピアノ協奏曲であったが、作曲家自身によってオーケストラに編曲された。ヨーロッパ諸国をテーマとしてそれぞれの特徴がよく表された全6曲からなり、イタリアは第5曲目。

♪「わが祖国」よりモルダウ

鑑賞曲として、また合唱曲としても聴きなれた名曲。作曲された当時はチェコがオーストリアの影響を強く受けていたことから、スメタナは母国の誇りを秘めてこの曲を作曲したことなど時代背景の解説を含めて鑑賞する。チェコの母なる川モルダウ(ブルタバ)を描写的に描き、川が流れている情景を感じながら強弱・音色を知覚して鑑賞する。

※上記演目の他に実施校「校歌」と、アンコールとして全校児童・生徒の手拍子を加えた「ラデツキー行進曲」を予定。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

【小学校】

共演コーナーでは、ワークショップ体験者を除く全校児童を3～4グループに分ける。

[ラベル:ボレロ]を構成する12種類のリズムパターンのうち3～4種類を各グループに割り当て、演奏に合わせてリズム打ちを行う。共演方法として手拍子、足拍子を使用し、各自自由な方法で表現をする。ボレロ(約6分間に短縮)の演奏に合わせて、まずワークショップ体験者が学校の打楽器や手作り楽器等を使用して練習を披露し、その次に全校児童が加わってお互いの表現を鑑賞し合う。

【中学校】

学校が希望する曲と本公演のために特別アレンジした校歌を、吹奏楽部等の生徒と一緒に演奏する。

吹奏楽部等が無い学校の場合は、小学校の[ボレロ]応用版を実施する。

児童生徒とのふれあい

【小学校】共演コーナーでは演奏者数名が前に出てきて、児童に手本を見せながら一緒にリズム打ち練習を行う。

【中学校】ワークショップでの事前練習も含め、プロの演奏家と一緒に演奏することで演奏技術と意欲の向上に繋げる。また、演奏家とコミュニケーションを取ることで、演奏面だけでなく今後の音楽生活を充実させるためのヒントを得てもらう。

その他、小学校・中学校ともに指揮者体験コーナーでは、児童・生徒が指揮者の横に立って直接指導を受けながらフルオーケストラを指揮する。